

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 大成温調株式会社

コード番号 1904 URL <http://www.taisei-oncho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 隆義

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長

(氏名) 奥山 徹

TEL 03-5742-7301

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,577	18.5	△99	—	72	△82.3	△449	—
23年3月期第3四半期	25,793	△16.4	308	△25.3	406	△26.3	252	△9.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △653百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△33.82	—
23年3月期第3四半期	19.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	35,120	17,452	49.7	1,313.53
23年3月期	35,427	18,305	51.7	1,377.70

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,452百万円 23年3月期 18,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	16.8	930	△3.8	950	△14.2	400	△20.1	30.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,364,975 株	23年3月期	14,364,975 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,077,954 株	23年3月期	1,077,671 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,287,061 株	23年3月期3Q	13,290,901 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年3月期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、本日発表しました「特別損失の発生に関するお知らせ」に記載のとおり、貸倒引当金繰入額362百万円の特別損失が発生しましたが、その他の要因も含めまして現在精査中であり、現時点におきましては、中国の連結子会社が当初予想より好調に推移し、特に第4四半期会計期間において進行基準適用の大型工事の進捗率が大幅に上がり、売上高増が見込まれること等から、海外部門全体で当該特別損失を概ね補填できる見込みであり、平成23年5月17日に発表いたしました「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の予想数値に変更はございません。なお、今後において業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にある中で、景気は緩やかに持ち直してまいりましたが、長引く円高の影響や米国経済の停滞、欧州の金融・財政不安がもたらす世界的な景気減速懸念などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設業界におきましても、公共投資は東日本大震災の復旧・復興投資もあり、下げ止まってきたものの、民間投資は低調に推移し、それに伴う価格競争の激化で、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当連結会計年度は当社グループの創業70周年事業として発足し作成した成長戦略“Decade Strategy 2020”の1年目にあたり、総力をあげて受注及び利益の確保、経営の効率化を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は中国の子会社において大型案件を受注したこともあり、前年同四半期比11.7%増の364億65百万円となり、売上高は前年同四半期比18.5%増の305億77百万円となりました。

利益面につきましては、前年同四半期は原価低減が大幅に図られた大型工事があり、利益を大きく押し上げましたが、当四半期においては、利益面に大きく寄与する大型工事が無かったこともあり、営業損失は99百万円（前年同四半期は営業利益3億8百万円）、経常利益は72百万円（前年同四半期比82.3%減）となりました。また、四半期純損失は特別損失に貸倒引当金繰入額3億62百万円を計上し、更には税制改正による法人税率変更の影響で法人税等が増加した結果、4億49百万円（前年同四半期は四半期純利益2億52百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るといった季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 日本

売上高につきましては、256億90百万円（前年同四半期比16.0%増）となり、セグメント損失は41百万円（前年同四半期はセグメント利益3億22百万円）となりました。

## ② 米国

売上高につきましては、26億19百万円（前年同四半期比2.8%減）となり、セグメント損失は90百万円（前年同四半期はセグメント損失29百万円）となりました。

## ③ 中国

売上高につきましては、22億67百万円（前年同四半期比138.7%増）となり、セグメント利益は31百万円（前年同四半期比91.6%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は351億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては現金預金が23億48百万円減少し、受取手形・完成工事未収入金等が8億58百万円、未成工事支出金が12億14百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は176億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億45百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、未成工事受入金が12億63百万円増加し、支払手形・工事未払金等が10億82百万円減少したこと等によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は174億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億53百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が6億48百万円、為替換算調整勘定が1億19百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月17日に公表いたしました「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の連結業績予想の変更はいたしません。なお、業績修正が必要と判断された場合には、速やかに別途お知らせいたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の算定方法

税金費用につきましては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	10,719,117	8,370,298
受取手形・完成工事未収入金等	14,786,374	15,644,990
有価証券	499,818	39,916
未成工事支出金	1,326,837	2,541,658
商品	9,302	16,354
原材料	284,016	64,974
繰延税金資産	386,208	387,675
その他	694,853	1,195,185
貸倒引当金	△203,042	△209,687
流動資産合計	28,503,486	28,051,366
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,467,294	3,464,334
機械、運搬具及び工具器具備品	784,832	761,991
土地	1,875,062	1,890,317
建設仮勘定	9,385	80,121
その他	55,008	68,976
減価償却累計額	△2,653,496	△2,701,582
有形固定資産合計	3,538,086	3,564,158
無形固定資産	48,427	41,405
投資その他の資産		
投資有価証券	1,693,885	1,784,407
長期貸付金	284,018	573,401
繰延税金資産	422,433	445,452
その他	1,963,496	2,004,696
貸倒引当金	△1,026,190	△1,344,454
投資その他の資産合計	3,337,643	3,463,504
固定資産合計	6,924,157	7,069,069
資産合計	35,427,644	35,120,435

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	12,992,526	11,910,419
短期借入金	360,000	912,484
未払法人税等	39,193	170,301
未成工事受入金	1,389,731	2,653,325
賞与引当金	275,994	138,200
完成工事補償引当金	36,123	49,213
工事損失引当金	469,567	506,200
その他の引当金	5,857	8,649
その他	998,054	721,510
流動負債合計	16,567,050	17,070,304
固定負債		
長期借入金	862	1,851
退職給付引当金	397,363	443,841
その他の引当金	9,807	24,691
負ののれん	72,325	58,764
その他	74,330	68,107
固定負債合計	554,690	597,255
負債合計	17,121,740	17,667,560
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,087,248	5,087,248
利益剰余金	8,851,358	8,202,685
自己株式	△306,140	△306,238
株主資本合計	18,827,522	18,178,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138,952	54,282
為替換算調整勘定	△660,571	△780,161
その他の包括利益累計額合計	△521,619	△725,878
純資産合計	18,305,903	17,452,874
負債純資産合計	35,427,644	35,120,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高		
完成工事高	25,027,536	30,031,533
その他の事業売上高	766,227	546,259
売上高合計	25,793,763	30,577,793
売上原価		
完成工事原価	22,213,836	27,473,833
その他の事業売上原価	603,302	396,370
売上原価合計	22,817,138	27,870,203
売上総利益		
完成工事総利益	2,813,700	2,557,700
その他の事業総利益	162,924	149,889
売上総利益合計	2,976,625	2,707,589
販売費及び一般管理費	2,668,239	2,807,251
営業利益又は営業損失(△)	308,386	△99,661
営業外収益		
受取利息及び配当金	46,202	56,356
受取保険金	68,418	116,363
投資有価証券売却益	110	2
貸倒引当金戻入額	—	12,435
その他	30,867	48,726
営業外収益合計	145,599	233,883
営業外費用		
支払利息	6,571	4,419
為替差損	32,251	55,062
その他	8,391	2,608
営業外費用合計	47,214	62,091
経常利益	406,771	72,130
特別利益		
退職給付制度改定益	149,355	—
特別利益合計	149,355	—
特別損失		
固定資産売却損	—	934
固定資産除却損	9,987	—
投資有価証券評価損	364	15,210
貸倒引当金繰入額	—	362,754
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,914	—
特別損失合計	17,265	378,899
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	538,861	△306,769
法人税等	286,103	142,593
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	252,758	△449,362
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	252,758	△449,362

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	252,758	△449,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,178	△84,669
為替換算調整勘定	△208,604	△119,589
その他の包括利益合計	△236,783	△204,259
四半期包括利益	15,975	△653,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,975	△653,622

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,148,378	2,695,658	949,727	25,793,763	—	25,793,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,148,378	2,695,658	949,727	25,793,763	—	25,793,763
セグメント利益又は損失(△)	322,577	△29,421	16,464	309,621	△591	309,030

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	309,621
「その他」の区分の損失(△)	△591
セグメント間取引消去	△644
四半期連結損益計算書の営業利益	308,386

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,690,971	2,619,631	2,267,190	30,577,793	—	30,577,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,690,971	2,619,631	2,267,190	30,577,793	—	30,577,793
セグメント利益又は損失(△)	△41,062	△90,553	31,546	△100,068	△672	△100,741

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	△100,068
「その他」の区分の損失(△)	△672
セグメント間取引消去	1,079
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△99,661

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況

期別	区分	期首繰越工事高 (千円)	期中受注工事高 (千円)	計(千円)	期中完成工事高 (千円)	期末繰越工事高 (千円)
前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	一般施設工事	21,995,050	14,415,798	36,410,848	11,228,793	25,182,054
	産業施設工事	2,707,098	4,131,258	6,838,356	3,352,919	3,485,437
	営繕・保守工事	2,655,151	8,237,204	10,892,355	6,797,742	4,094,613
	計	27,357,299	26,784,261	54,141,561	21,379,455	32,762,105
当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	一般施設工事	23,732,415	11,789,892	35,522,308	12,585,062	22,937,245
	産業施設工事	3,662,004	6,159,043	9,821,047	4,367,482	5,453,564
	営繕・保守工事	4,028,027	10,369,240	14,397,268	8,200,540	6,196,728
	計	31,422,447	28,318,176	59,740,624	25,153,085	34,587,538
前事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	一般施設工事	21,995,050	21,131,531	43,126,581	19,394,166	23,732,415
	産業施設工事	2,707,098	6,403,548	9,110,646	5,448,642	3,662,004
	営繕・保守工事	2,655,151	11,964,778	14,619,929	10,591,901	4,028,027
	計	27,357,299	39,499,857	66,857,157	35,434,709	31,422,447

(注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、期中受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、期中完成工事高にも係る増減額が含まれております。

2. 期末繰越工事高は(期首繰越工事高+期中受注工事高-期中完成工事高)に一致しております。